

多文化パワーと地域創生 ～未来をデザインする日本語支援～

平成27年10月3日(土)@福島大学

堀 永乃(一般社団法人グローバル人財サポート浜松)

第1章 過去と現在、そして未来

「多文化共生」はいつ生まれたのか？そして、いつ実現するのか？

多文化共生までの歩み

戦後～80年代 在日コリアンの定住化と人権

- 特別永住者や中国残留邦人等への対応

1980年代 経済大国「日本」へ～地域外交と国際交流

- 国際交流の推進(姉妹都市交流、市民レベルで文化体験など)

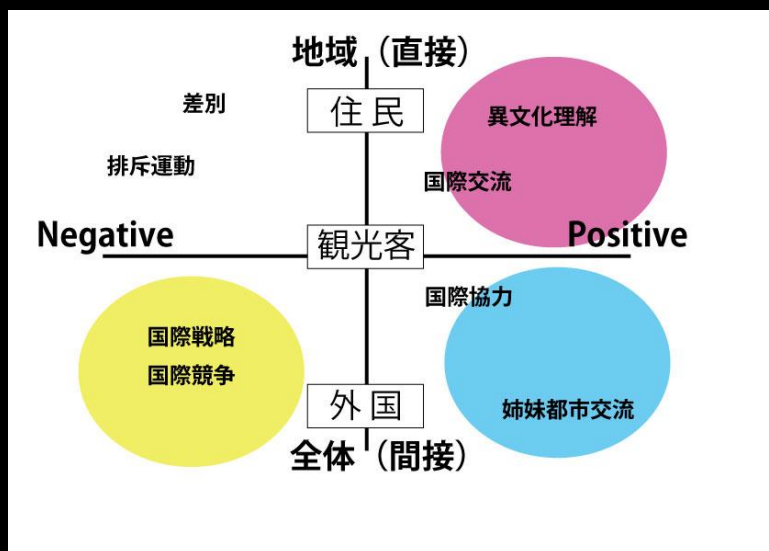
1990年代 「顔の見えない外国人」の定住化

- デカセギと呼ばれる南米系外国人の増加に伴う課題の対応
- 国際協力の推進(例;途上国への支援)

2000年代～ 外国人住民施策の体系化～「生活者」としての外国人

- 外国人集住都市会議(2001年 浜松宣言)
- 総務省「地域における多文化共生推進プラン」策定(2006年)

「外国人」を取り巻く地域のイメージ図



あなたは、どんな「未来」を描きますか？

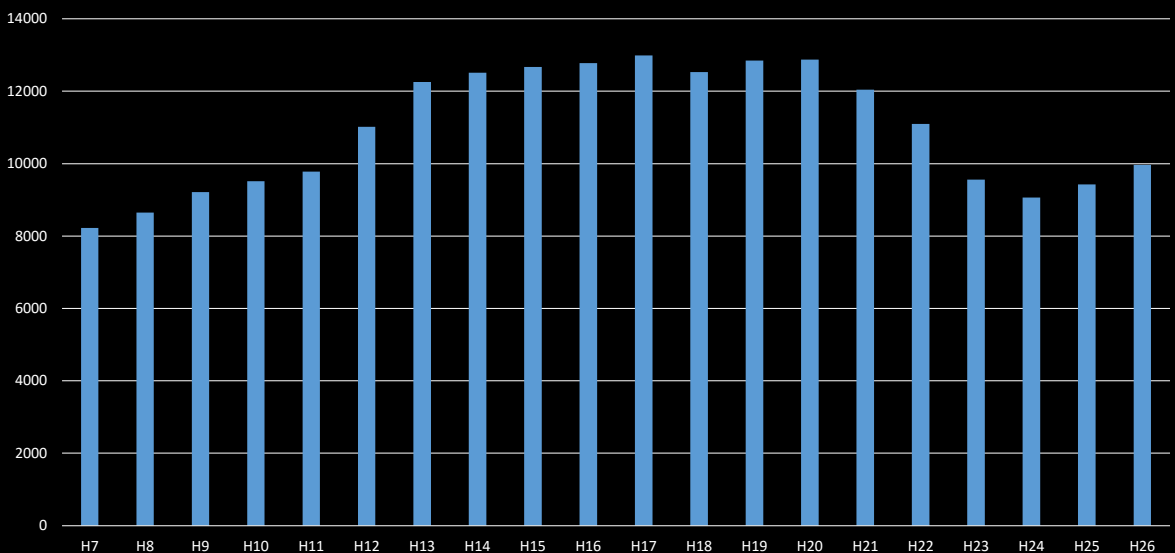
第2章 地域をデザインする

点と点をつなげて、面にしたら、それを深くして、立体的に構造してみる

問い①

福島県に外国人がいる意義とは何だと思えますか。
私のまちに、外国人の人たちがいて
「よかったな～」と思うこと(エピソード)はありますか。
具体的にどんなことですか。

福島県の在留外国人人口推移



年齢別在留外国人人口推移

	H24	H25	H26
年少人口	460	461	455
生産人口	8,311	8,752	9,273
老年人口	488	513	521

総務省 在留外国人人口(いずれも12月末現在)より掘作成

問い②

あなたの教室にやってくる外国人学習者は「何を」求めて、やってくるのでしょうか。

日本語教室の運営のカギ

• ニーズの2W1H

なぜ(意義と原因・背景のWhy)、
誰・何のために(for Whom)、
どの程度まで(How far)

• 手法・プロセスの3W1H

何をどのように(What & How)、いつ(When)、どこで(Where)

• 資源の1W1H

誰が(Who)、支出・収入(How much)

• ニーズの2W1H

なぜ(意義と原因・背景のWhy) →例)生活上の日本語、来日したばかり

誰・何のために(for Whom) →例)日本人の配偶者、子育てで日本語が必要だから

どの程度まで(How far)

→例)3ヵ月で入門レベルを習得、学校のお便りが読める、先生と会話ができる

• 手法・プロセスの3W1H

何をどのように(What & How)

→例)みんなの日本語のテキストでボランティア教師によるプライベートレッスン

いつ(When) →例)毎週日曜日の朝10時~12時

どこで(Where) →例)文化センターや公民館、学習者の自宅

• 資源の1W1H

誰が(Who) →例)自治体が委託金を団体に、企業が個人に

支出・収入(How much) →例)税金、民間企業、受講料

出会って、交流して、相互理解を深める



問い③

あなたに関わる日本語教室で
外国人学習者が、もっと幸せになるために
何が必要だと思いますか

第3章 「誰」のための 日本語教育か？

日本語教育は、社会に貢献できるのだろうか？

外国人の日本語学習の**真の意味**とは一

年齢別在留外国人人口推移

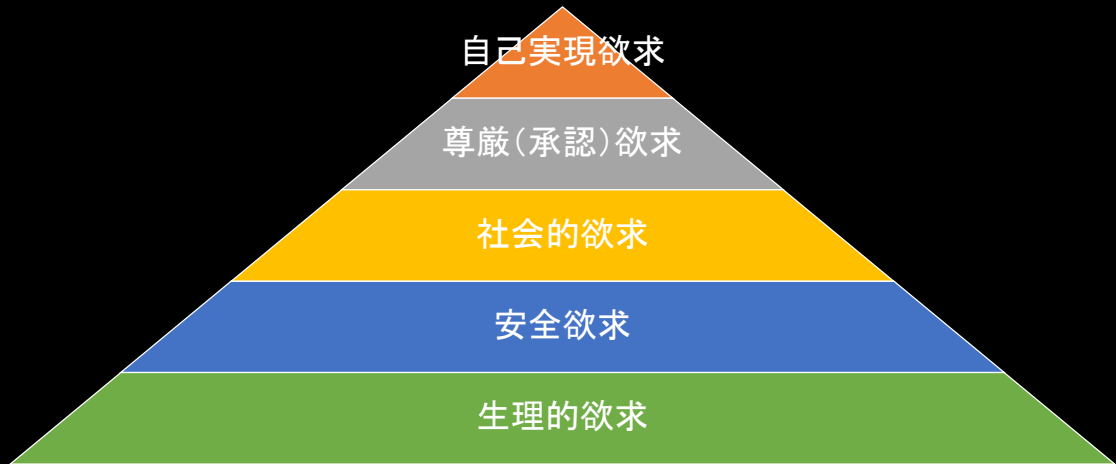
	H24	H25	H26
年少人口	460	461	455
生産人口	8,311	8,752	9,273
老年人口	488	513	521

総務省 在留外国人人口(いずれも12月末現在)より掘作成

ある外国人(Aさん)の日本語学習歴と 生活の記録: Aさんはブラジル出身・女性

いつ	どこで	誰と	教材	何ができるようになりたかったのか
1991年8月頃	自宅	母親	市販のひらがなドリル	ひらがなの読み書きができるようになりたかった
1992年5月頃	職場	事務所の人	スズキ工場のコンポ用のマニュアル	職場で使う漢字の読み書きができるようになりたかった
1996年7月頃	自宅	独学	漢字ドリル 1年～3年	長女が小学校に入学したので、学校の便りや宿題を手伝えるようになりたかった
2000年12月頃	自宅	独学	日本語能力試験用の参考書	職場で手紙を読んだり、運転手たちに簡単なお知らせ文を作ったりする

マズローの5大欲求



ある外国人(Aさん)の日本語学習歴と 生活の記録から彼女の背景を把握する

いつ	どこで	誰が	何を	何が
1991年8月頃	自宅	母親	市販のひらがなドリル	ひらがなの読み書きができるようになりたかった
1992年5月頃	職場	事務所の人	スズキ工場のコンポ用のマニュアル	職場で使う漢字の読み書きができるようになりたかった
1996年7月頃	自宅	独学	漢字ドリル 1年~3年	長女が小学校に入学したので、学校の便りや宿題を手伝えるようになりたかった
2000年12月頃	自宅	独学	日本語能力試験用の参考書	職場で手紙を読み取り、パソコンで簡単に知らせ文を作ったりする

工場勤務
日本語はできなかった
子どもの進学がきっかけ
日本語教室ではなく独学

デカセギとして来日

ある外国人(Aさん)の日本語学習歴と 生活の記録から欲求(自己実現)と社会参画の プロセスを見る

いつ	どこで	誰と	教材	何ができるようになったのか
1991年8月頃	自宅	母親	市販のひらがなドリル	ひらがなの読み書きができるようになったかった
1992年3月頃	職場	事務所	スズキエンジン 水用のマニュアル	職場で使う漢字の読み書きができるようになったかった
1996年7月頃	自宅	独学	漢字ドリル 1年～3年	長女が小学校に入学したので、学校の便りや宿題を手伝えるようになったかった
2000年12月頃	自宅	独学	日本語能力試験用 (参考書)	職場で手紙を読んだり、運転手たちに簡単なお知らせ文を作ったりする

個人レベルでの達成感

他者への支援を通じた達成感

社会における存在の達成感

外国人の自己実現とQuality Of Life

日本人の気づき



問い④

福島県に在住する、あるいはこれから来日する外国人が福島県でハッピーになり、**自己実現を果たすために、**私たちは、**何ができるのだろうか。**

第4章 多文化パワーと地域創生

外国人が有するチカラをもっと地域に活かそう

働く人



伝える人



支える人



「自然」を守る人



「伝統」を守る人



地域の良さが世界に広がる

問い⑤

福島県がもっとハッピーになるために
 私たちは **お互いに**
 何をしなければならないと思いますか。

あなたも、あなたが支援をしている外国人も
人は地域の「財産」です

あなたは、福島県で、
どんな未来を描きますか？

ご清聴、ありがとうございました。